

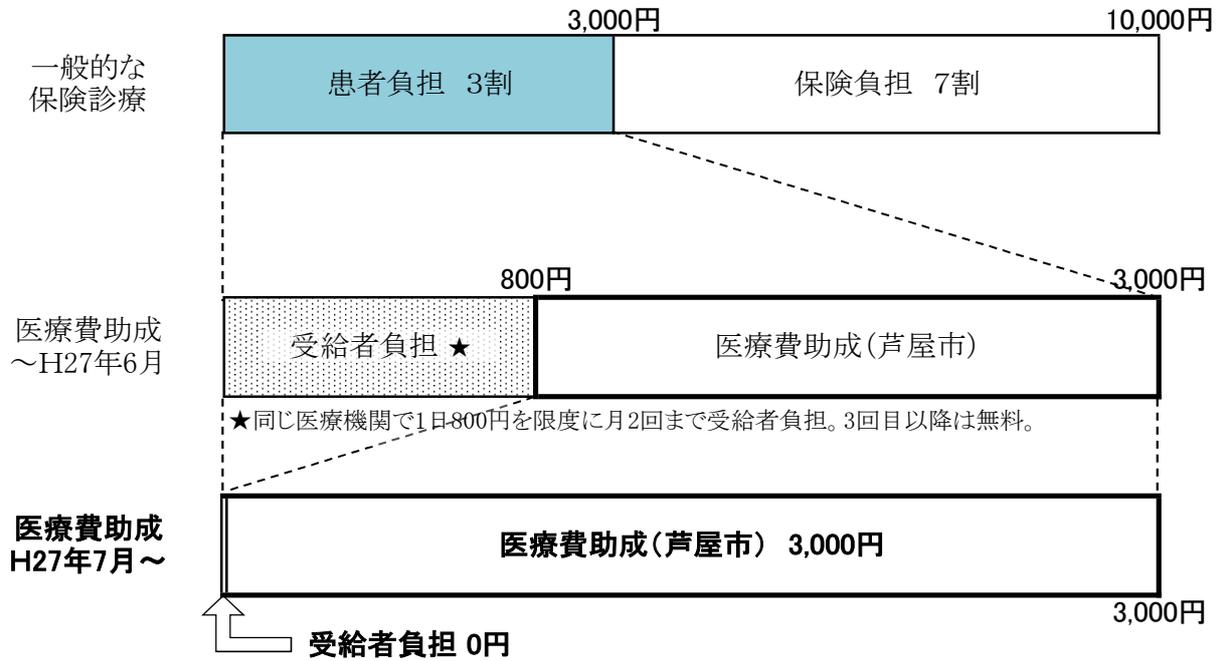
地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)活用事業

兵庫県芦屋市

事業分野	少子化対策			
事業名	子ども医療費助成事業			
事業執行額	34,104,970円(平成27年7月～11月受診分)			
評価指標	指標	指標値	実績値	評価検証方法
	15歳未満人口	13,000人	12,730人 (H27.12.31現在)	住民基本台帳人口による
事業の 評価	評価	<p>芦屋市では、地域で安心して子育てができるまちづくりを目指しているが、ここ数年、15歳未満の人口は減少し続けている。このため、子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育て環境を充実させて、子育て世帯の移住・定住促進を図るため、平成27年7月から中学3年生までの通院医療費を無料化した。</p> <p>入院医療費については平成23年から無料化を実施しており、今回の通院医療費無料化により、(所得制限内であれば)中学3年生までの医療費がすべて無料になった。</p> <p>昨年7月の制度改正から8か月程が経過したが、目標としていた15歳未満人口13,000人の達成には至らなかった。少子化の影響から近隣市も15歳未満人口が減少しており、平成26年12月末と平成27年12月末を比較すると各市とも1～2%程度の減少、芦屋市においては1.34%(173人)の減少であった。</p> <p>制度改正から間もないことと、少子化という社会的背景も要因と考えられるが、今後も制度の周知に努める必要がある。</p>		
	改善策	<p>引き続きホームページ等により制度の周知に努めるとともに、近隣市の制度内容の変化に留意する必要がある。</p> <p>また、芦屋市の魅力発信の一つとして、他部署と連携した周知も検討する。</p>		
	長期的展望	<p>近年、兵庫県内の一部の市町において所得制限を撤廃するところが出てきている。本市も、子どもの医療費助成については、本来は国で責任を持って実施すべきという考えに立っているものの、所得制限の動きについては注視していく必要がある。</p>		
担当部局名	福祉部社会福祉課	作成責任者	福祉医療係長 森本真司	

■ 子どもの医療費助成制度 概要図 ■

0歳児⇒小学校3年生（乳幼児等医療費助成制度）



小学校4年生⇒中学校3年生（こども医療費助成制度）

